

【Sクラブ・ファッション造形基礎選択者】

日中活動支援センターたけはなへ 手作りマスクを寄付しました

(令和2年8月25日)

毎年12月に交流している日中活動支援センターはけはなへ布製の手作りマスクを100枚寄付しました。今年は新型コロナウイルス感染予防のため、例年行っている交流はできないため、Sクラブと総合選択コースの選択科目、ファッション造形基礎の授業で手作りした布製マスクを寄付する交流となりました。寄付したマスクは、利用者さんやそのご家族で使っていただく予定です。

また、日中活動支援センターたけはなの職員・利用者さんから、おみくじ付きの手作りの芳香剤をいただきました。

この活動は、岐阜新聞の方から取材を受け、翌日26日の岐阜新聞の朝刊に取り上げられました。



新 聞 2020年(令和2年)8月26日 水曜日 岐阜地域 14

手作り布マスク、どうぞ

羽島高の 障害者施設に100枚贈る

Sクラブの ボランティアに取り組む文化部「Sクラブ」の部員は25日、同町狐穴の障害者支援施設「日中活動支援センターたけはな」の利用者に、手作りの布製マスク100枚を寄付した。

利用者には毎年冬、同施設に訪問し、利用者の作業を体験したり、ゲームをしたりして交流をしている。今年は新型コロナウイルスの感染防止で行事を中止した代わりに、感染予防に使用してもらおうと、マスクを届けることにした。

マスクは部員16人と3年生の総合選択コースの生徒が作った。施設を訪れた部員の岩田彩花さん(2年)と杉山愛美さん(同)が利用者にマスクを手渡した。施設はお礼として、職員が作った部員16人分の芳香剤を2人に渡した。

岩田さんは「今年は交流のかたちとして、マスクを

利用者にマスクを手渡す岩田彩花さん(手前左)と杉山愛美さん(奥左)。羽島市竹鼻町狐穴、日中活動支援センターたけはな。

部員たちは毎年冬、同施設に訪問し、利用者の作業を体験したり、ゲームをしたりして交流をしている。今年は新型コロナウイルスの感染防止で行事を中止した代わりに、感染予防に使用してもらおうと、マスクを届けることにした。

マスクは部員16人と3年生の総合選択コースの生徒が作った。施設を訪れた部員の岩田彩花さん(2年)と杉山愛美さん(同)が利用者にマスクを手渡した。施設はお礼として、職員が作った部員16人分の芳香剤を2人に渡した。

岩田さんは「今年は交流のかたちとして、マスクを

贈った。コロナに感染しないよう、利用者に使ってほしい」と話した。(長尾剛次)

岐阜新聞 プラザ21 事務局 ☎058-266-0165

【県内のポイント予報】

岐阜	12	18	24	6時	12	18
岐阜	☁	☁	☁	☁	☁	☁
高山	☁	☁	☁	☁	☁	☁
関	☁	☁	☁	☁	☁	☁
大垣	☁	☁	☁	☁	☁	☁
多治見	☁	☁	☁	☁	☁	☁
郡上	☁	☁	☁	☁	☁	☁
揖斐川	☁	☁	☁	☁	☁	☁
中津川	☁	☁	☁	☁	☁	☁
下呂	☁	☁	☁	☁	☁	☁

